

商工会地域の景況感は建設業と小売業が改善し、製造業とサービス業は悪化！
 来期、サービス業は回復見込みだが、全般的には低調を予測！

—2023年7月～9月期 中小企業景況調査報告書概要—

日銀が10月2日に発表した9月の企業短期経済観測調査（短観）によると、企業の景況感を示す業況判断指数（D・I）は、大企業・製造業がプラス9と前回の6月調査から4ポイント上昇し前期に続き2四半期連続で改善した。需要の落ち込みから生産に弱さが残るはん用機械や生産用機械、電気機械等では悪化が続いたものの、価格転嫁が進む食料品や半導体不足の解消や円安によって自動車が改善し全体を押し上げた。一方、大企業・非製造業は、前回調査から4ポイント改善の27と、1991年11月調査以来の高水準となった。コロナ禍での経済活動に対する制約の解消が進む中、行楽需要が回復へ向かったことやインバウンド需要が増加したことで、宿泊・飲食サービスや小売の業況も改善した。中小企業の業況判断指数は、製造業は前回から横ばいのマイナス5、非製造業は前回調査より1ポイント改善しプラス12になった。非製造業の業況感は6四半期連続での改善となり、コロナ前で最も高かった2019年3月調査と同じ水準まで回復した。

3か月後の先行きの見通し（2023年12月予測）は、大企業・製造業は今年より1ポイント改善しプラス10が見込まれている。持ち直しが期待される電気機械やはん用機械等を中心に業況の改善が続く見通しである。非製造業では、6ポイント悪化のプラス21が見込まれる。物価上昇による需要の減少やコストの増加、人手不足の深刻化等による悪影響が懸念されることから、非製造業全体では慎重な見方となっている。中小企業では、製造業がマイナス2と3ポイント改善、非製造業ではマイナス8と4ポイント悪化となっ

ており、製造業、非製造業とも大企業と同じ方向に変化している。

内閣府が9月26日に発表した9月の月例経済報告において、個別項目の「企業収益」は、非製造業を中心に改善していることから、「総じてみれば改善している」と判断を引き上げ、一方、「住宅建設」は、資材や人件費といったコストが高止まりしている影響で戸建て住宅の建設が減っているなどとして、「このところ弱含んでいる」と判断を引き下げた。そして、景気全体の基調判断は「景気は緩やかに回復している」を維持した。先行きは緩やかな改善が期待されるが、海外景気の下振れをリスクとしてあげている。

商工会地域の景況調査においては、今期（2023年7月～9月）の業況に関するD・I値は、製造業が前期より0.6ポイント悪化しマイナス20.0、建設業が11.4ポイント改善しマイナス26.1、小売業が3.6ポイント改善しマイナス48.8、サービス業が12.9ポイント悪化しマイナス28.3となっている。今期は、建設業と小売業が前期より改善し、製造業とサービス業は悪化している。建設業は2期連続して2桁以上改善している。

来期（2023年10月～12月期）の業況予測は、製造業が今年実績より3.3ポイント悪化しマイナス23.3、建設業が今年実績と横ばいのマイナス26.1、小売業は7.3ポイント悪化しマイナス56.1、サービス業は5.6ポイント改善しマイナス22.7を予測している。今年実績で大幅に悪化したサービス業だけが、来期は改善すると見込んでいる。

業界天気動向図

項目 年 月 業種	売 上				採算（経常利益）				資金繰り			
	2022	2023			2022	2023			2022	2023		
	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7
	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
製造業												
建設業												
小売業												
サービス業												

各項目については次により表示した。

区分	増加	やや増加	横ばい	やや減少	減少	大幅に減少
	好転	やや好転		やや悪化	悪化	非常に悪化
D I 値(前年同期比)	20.1～	5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～△20.0	△20.1～△35.0	△35.1～
表示	快晴	晴れ	曇り	小雨	雨	豪雨

今期直面している経営上の問題点

（数値の左は前期構成比、右は当期構成比を記す）

業種	1位	2位	3位	4位	5位
製造業	1位にあげる問題点 原材料価格の上昇	2位 人件費の増加 / 原材料費・人件費以外の経費の増加/ 需要の停滞	3位 --	4位 13.8	5位 製品ニーズの変化/ 生産設備の不足・老朽化等 6.7 6.9
建設業	1位にあげる問題点 材料価格の上昇	2位 官公需要の停滞	3位 新規参入業者の増加 / 従業員の確保難	4位 13.6	5位 請負単価の低下、上昇難 8.7 9.1
小売業	1位にあげる問題点 仕入単価の上昇	2位 需要の停滞	3位 購買力の他地域への流出	4位 大型店・中型店の進出 による競争の激化	5位 同業者の進出、販売単価の低下、 上昇難、その他 -- 5.0
サービス業	1位にあげる問題点 材料等仕入単価の上昇	2位 需要の停滞加	3位 利用者ニーズの変化	4位 店舗施設の狭隘 / 老朽化人件費以外の経費の増、 利用料金の低下、上昇難	5位 -- 7.8
前期	42.9	50.0	39.2	5.8	19.6
今期	50.0	39.2	5.8	19.6	9.6
前期	42.9	50.0	39.2	5.8	19.6
今期	50.0	39.2	5.8	19.6	9.6